

府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

人口ビジョン

国の長期ビジョンより10年早いペースでの出生率回復の実現

（2020年1.80、
2030年2.07、
2040年2.30、
以降安定）

予測より20～39歳の子育て世代の転入出差を年間+30世帯

「子育て世代が居住を選択するまち」を目指す

2060年も5万人の人口を維持

府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度の5箇年）

基本目標（2019年度）
と基本的方向

重要業績評価指標
Key Performance Indicator

「子育て世代が居住を選択するまち」実現に向け推進する施策

広島都市圏で1番の子育て支援

子育て世代女性100人あたり0歳児数9.23人（現状8.72人：住民基本台帳人口で検証）

子ども連れ家族の生活利便の向上

20～39歳女性が前年の19～38歳女性比で59人増（「何も対策を講じなかった場合」の予測では29人増：住民基本台帳人口で検証）

子どもに伝える地域の魅力向上

保育所の一人当たり面積2.62㎡（施策を講じなかった場合の予測2.59㎡）

子どもに遊びを教える等のボランティア活動の年間回数8回（現状3回）

学校の年間の県大会出場件数1割増

成人が感染することがあまりない12感染症の年間発生件数1割減

町内主要箇所の徒歩および自転車での1時間あたり通行者数の平均1割増

町営コミュニティバス「つばきバス」の年間利用者数、H26実績（187,298人）の2%増（191,000人）

レンタサイクルの年間のべ利用件数250件

祖父母が孫を保育する「孫育て」の支援

大学生が子どもに遊びを教える等のボランティア活動支援

児童センター等が設置される（仮称）北部総合福祉施設の整備推進

ICT機器や各種用具の学校配備等による質の高い教育の提供

感染症の知識普及や新たな予防接種の負担軽減の実施

子ども連れ家族が安全で快適に移動しやすい歩行者空間整備

おむつ交換台設置店等の店頭表示やマップ作製

公共施設等へのベビーカー、おむつ交換台等配備

子どもを前後に乗せる3人乗り自転車の貸出

一部ルート変更やバス停整備等によるつばきバスの利便性向上

レンタサイクル、マップ作製等による観光散策の環境整備